

令和 8 年度 中広木津線道路改良工事
【設計図書】

設計書
(当初設計)

工事番号 第 建 ー 75 号

路線名等 市道 中広木津線

工事箇所 赤穂市 南野中 地内

工 種 道路改良

[illegible]

契約数量表

頁0-0001/0006

	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
本工事費						
道路改良						
道路土工						
掘削工						
掘削						
掘削		土砂 オープンカット	m3		120	
土砂等運搬						
土砂等運搬		土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		110	
路体盛土工						
路体(築堤)盛土						
路体(築堤)盛土		2.5m未満	m3		20	
路床盛土工						
路床盛土						
路床盛土		；施工幅員＝2.5m未満	m3		20	
作業土工						
床掘り			式		1	
床掘り						
埋戻し			式		1	

契約数量表

頁0-0002/0006

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
埋戻し					
カバー工					
プレキャストカバー工					
プレキャストボックス					
ボックスカルバート	作業区分->据付 L=2.0m/個	m		21	
ボックスカルバート	作業区分->据付 L=2.0m/個	m		16	
防護工		箇所		2	
RCボックスカルバート材料	縦締め材料費	式		1	
排水構造物工					
側溝工					
プレキャスト側溝					
管(函)渠型側溝	据付 内径又は内空幅:200mm以上300mm以下	m		83	
プレキャスト街渠柵	スリット型排水側溝 街渠柵	基		1	
プレキャスト街渠柵	スリット型排水側溝 街渠柵	基		2	
縁石工					
1号歩車道境界ブロック		m		54	
2号歩車道境界ブロック		m		29	
地先境界ブロック設置	A型 12cm×12cm	m		42	

契約数量表

頁0-0003/0006

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		1	
管渠工					
暗渠排水管					
暗渠排水管	据付	m		0.8	
構造物撤去工					
防護柵撤去工					
防護柵撤去(ガードレール)					
ガードレール撤去工	Gr-C-2B	m		23	
構造物取壊し工					
コンクリート構造物取壊し					
構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3		39	
構造物とりこわし工	無筋構造物	m3		4	
舗装版切断					
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		140	
舗装版破碎					
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		410	
運搬処理工					
殻運搬					

契約数量表

頁0-0004/0006

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし	m3		39	
土砂等運搬	土質->軟岩	m3		4	
殻運搬	舗装版破碎	m3		33	
運搬費		台		1	
殻処分					
処分費	コンクリート殻(鉄筋)	式		1	
処分費	[35cmから70cmの石]	式		1	
処分費	アスファルト殻	式		1	
処分費	[汚泥(泥水)]	式		1	
舗装					
舗装工					
舗装準備工					
不陸整正					
不陸整正	補足材料->無し	m2		308	
アスファルト舗装工					
下層路盤(車道・路肩部)					
下層路盤(車道・路肩部)	全仕上り厚->250mm 2層施工	m2		265	
上層路盤(車道・路肩部)					

契約数量表

頁0-0005/0006

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25,M-30,M-40	m2		265	
表層(車道・路肩部)					
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		288	
透水性舗装工					
フィルター層					
フィルター層	t = 40mm以上60mm未満	m2		99	
フィルター層	t = 40mm以上60mm未満	m2		76	
上層路盤(歩道部)					
上層路盤(歩道部)	全仕上り厚 t = 1 0 0 1層施工	m2		99	
上層路盤(歩道部)	全仕上り厚 t = 1 5 0 1層施工	m2		77	
表層					
透水性アスファルト舗装	t = 3 0 mm	m2		99	
透水性アスファルト舗装	t = 5 0 mm	m2		77	
区画線工					
区画線工					
溶融式区画線					
区画線設置 [溶融式]	実線 15cm t=1.5mm	m		88	
区画線設置 [溶融式]	破線 15cm t=1.5mm	m		20	

契約数量表

頁0-0006/0006

[illegible]

数量総括表

工 事 名			中広木津線道路改良工事				事業区分 (レベル0)		道路改良	
							工事区分 (レベル1)		道路改良	
工種 (レベル2)			名 称	規格(レベル5)	算 式	数 量		単 位	摘 要	
種別 (レベル3)						計算数量	設計数量			
細別 (レベル4)										
本工事										
道路改良										
道路土工										
掘削工										
		掘削								
			掘削	土砂 オープン		129.2	120	m3		
		土砂等運搬								
			土砂等運搬	土砂 標準		115.2	110	m3		
路体盛土工										
		路体（築堤）盛土								
			路体（築堤）盛土	2.5m未満		23.9	20	m3	車道部・歩道部	
路床盛土工										
		路床盛土								
			路床盛土	2.5m未満		25.5	20	m3	車道部	
作業土工										
		床掘り								

数量総括表

工 事 名			中広木津線道路改良工事				事業区分 (レベル0)	道路改良
工種 (レベル2)							工事区分 (レベル1)	道路改良
種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	名 称	規格 (レベル5)	算 式	数 量		単 位	摘 要
					計算数量	設計数量		
		床掘り	土砂 小規模		87.7	80	m3	
		埋戻し						
		埋戻し	土砂 小規模		42.1	40	m3	
		カルバート工						
		プレキャストカルバート工						
		プレキャストボックス						
		ボックスカルバート	1.25<B≦2.5 0<H≦1.25		21.0	21	m	L=2.0m/個 標準
		ボックスカルバート	1.25<B≦2.5 0<H≦1.25		16.7	16	m	L=2.0m/個 特厚
		防護工			2.0	2	箇所	
		RCボックスカルバート材料	縦締め材料費		1.0	1	式	
		排水構造物工						
		側溝工						
		プレキャスト側溝						
		管(函)渠型側溝	内空幅：200mm以上300mm以下 スリット型排水側溝		83.7	83	m	
		プレキャスト街渠柵	スリット型排水側溝 街渠柵		1.0	1	基	300×300
		プレキャスト街渠柵	スリット型排水側溝 街渠柵		2.0	2	基	300×1000-500

数量総括表

工 事 名			中広木津線道路改良工事				事業区分 (レベル0)	道路改良	
							工事区分 (レベル1)	道路改良	
工種 (レベル2)			名 称	規格(レベル5)	算 式	数 量		単 位	摘 要
種別 (レベル3)						計算数量	設計数量		
細別(レベル4)									
		縁石工							
			1号歩車境界ブロック			54.9	54	m	
			2号歩車境界ブロック			29.0	29	m	
			地先境界ブロック設置	A 型 12cm×12cm		42.7	42	m	1号地先境界ブロック
			コンクリート	無筋・鉄筋構造物		1.2	1	m3	間詰コンクリート
		管渠工							
		暗渠排水管							
			暗渠排水管	据付 φ300 直管(200～400mm)		0.8	0.8	m	
		構造物撤去工							
		防護柵撤去工							
		防護柵撤去 (ガードレール)							
			ガードレール撤去工	Gr-C-4E		23.1	23	m	
		構造物取壊し工							
		コンクリート構造物取壊し							
			構造物とりこわし工	機械施工 鉄筋構造物		39.6	39	m3	
			構造物とりこわし工	機械施工 無筋構造物		4.4	4	m3	石積部

数量総括表

工 事 名			中広木津線道路改良工事					事業区分 (レベル0)	道路改良
								工事区分 (レベル1)	道路改良
工種 (レベル2)			名 称	規格(レベル5)	算 式	数 量		単 位	摘 要
種別 (レベル3)		計算数量				設計数量			
細別(レベル4)									
		舗装版切断							
			舗装版切断	As舗装版 15cm以下		143.2	140	m	
		舗装版破碎							
			舗装版破碎	As舗装版		414.2	410	m2	
運搬処理工									
		殻運搬							
			殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし L=3.3km以下		39.6	39	m3	
			土砂等運搬	L=9.5km以下 軟岩		4.4	4	m3	石積部
			殻運搬	舗装版破碎 L=3.5km以下	414.2*0.08	33.1	33	m3	
			運搬費	小型車2tクラス		1.0	1	台	
		殻処分							
			処分費	コンクリート殻(鉄筋)	39 m3	1.0	1	式	
			処分費	その他 35cmから70 c mの石	4*2.2≒8.8t	1.0	1	式	
			処分費	アスファルト殻(掘削)	33 m3	1.0	1	式	
			処分費	汚泥(泥水)	0.023×0.05×143.2×1.4=0.23 t	1.0	1	式	0.5tまで一律とする
舗装									

数量総括表

工 事 名			中広木津線道路改良工事				事業区分 (レベル0)	道路改良	
							工事区分 (レベル1)	道路改良	
工種 (レベル2)			名 称	規格(レベル5)	算 式	数 量		単 位	摘 要
種別 (レベル3)		計算数量				設計数量			
細別(レベル4)									
舗装工									
舗装準備工									
不陸整正									
			不陸整正			308.8	308	m2	
アスファルト舗装工									
下層路盤(車道・路肩部)									
			下層路盤(車道・路肩部)	t=25cm RC-30,40		265.2	265	m2	
上層路盤(車道・路肩部)									
			上層路盤(車道・路肩部)	t=10cm 粒調砕石		265.2	265	m2	
表層(車道・路肩部)									
			表層(車道・路肩部)	t=5cm 密粒度アスコン(再)		288.2	288	m2	
透水性舗装工									
フィルター層									
			フィルター層	t=5cm 洗砂		99.4	99	m2	一般部
			フィルター層	t=5cm 洗砂		76.6	76	m2	4t以下乗入部
上層路盤(歩道部)									

数量総括表

工 事 名			中広木津線道路改良工事					事業区分 (レベル0)	道路改良
								工事区分 (レベル1)	道路改良
工種 (レベル2)			名 称	規格(レベル5)	算 式	数 量		単 位	摘 要
種別 (レベル3)		計算数量				設計数量			
細別(レベル4)									
			上層路盤(歩道部)	t=10cm 再生切込碎石RC-30		99.5	99	m2	一般部
			上層路盤(歩道部)	t=15cm 再生切込碎石RC-30		77.1	77	m2	4t以下乗入部
		表層							
			透水性アスファルト舗装	t=3cm 一般・4t以下乗入部 開粒度As		99.5	99	m2	一般部
			透水性アスファルト舗装	t=5cm 一般・4t以下乗入部 開粒度As		77.1	77	m2	4t以下乗入部
		区画線工							
		区画線工							
		溶融式区画線							
			区画線設置 [溶融式]	実線 15cm t=1.5mm		88.6	88	m	
			区画線設置 [溶融式]	破線 15cm t=1.5mm		20.0	20	m	
		道路付属施設工							
		道路付属物工							
		道路鋏							
			道路鋏設置工	小型鋏 両面貼付式 設置幅10cm		9.0	9	個	
		仮設工							
		交通管理工							

数量総括表

工 事 名			中広木津線道路改良工事				事業区分 (レベル0)		道路改良	
							工事区分 (レベル1)		道路改良	
工種 (レベル2)			名 称	規格(レベル5)	算 式	数 量		単 位	摘 要	
種別 (レベル3)						計算数量	設計数量			
細別(レベル4)										
		交通誘導警備員								
			交通誘導警備員B	昼間勤務 実働8時間(交代要員なし)		92	92	人日		

特 記 仕 様 書

事業名

工事名

中広木津線道路改良工事

工事施工箇所

赤穂市 南野中 地内

工事期間

契約書に定める工事の始期日～令和 9 年 2 月 26 日

兵 庫 県 赤 穂 市

第 1 章 総則

（特記仕様書の適用）

第 1 条 本工事は、設計書、図面、兵庫県土木工事共通仕様書（最新版）及び第 2 章第 2 項に定めた準拠規格及び関係法令を遵守するとともに、この特記仕様書により施工しなければならない。

（主任技術者及び監理技術者）

第 2 条 受注者は、本工事に関する主任（監理）技術者を定め、その氏名を書面により発注者に通知しなければならない。主任（監理）技術者を変更したときも同様とする。

（技術管理）

第 3 条 主任（監理）技術者は、次に掲げる技術管理を実施しなければならない。ただし、工事の進捗に伴い、必要な事項が生じた場合には、次の各号に追加することがある。

- （1）品質管理
- （2）写真、展開図による出来形管理
- （3）工程表による工程管理

（品質管理）

第 4 条 主任（監理）技術者は、兵庫県土木工事施工管理基準（最新版）で定めるところによる測定又は試験を行い、管理図又は結果表を作成し、監督員に提出しなければならない。

（測定・試験値による措置）

第 5 条 主任（監理）技術者は、前条の管理図、結果表の測定若しくは試験値が著しく偏向している場合又はバラツキが大きい場合若しくは所定の範囲に適合しない場合には、その原因を究明し、施工計画の見直し等の措置を講ずるとともに、その結果表を監督員に報告し、工事の手直し、補強等の必要がある場合には監督員の指示に従わなければならない。

（出来形管理）

第 6 条 主任（監理）技術者は、工事の施工の順序に従い工事写真及び出来形確認図を作成し、監督員に提出しなければならない。

（工事写真）

第 7 条 前条の工事写真はサービス版とし、工事着手前、施工中（品質管理写真を含む。）及び完成後におけるそれぞれの写真の撮影箇所、枚数、整理方法等については監督員の指示に従うものとする。

（施工後明視できない箇所の測定・撮影）

第 8 条 水中又は地下に埋設する工事、その他完成後外面から明視することができない工事の施工箇所については、主任（監理）技術者は原則として監督員の立会を求め、測定及び工事写真の撮影を行うものとする。

(工事管理)

第 9 条 主任（監理）技術者は、横線式（バーチャート）又はネットワーク式その他による工程表を作成し、監督員に提出するとともに工程の完全な遂行を図らなければならない。

- 2 災害その他の事情により工事が遅延したときは、主任（監理）技術者は直ちにその理由、原因を書面により監督員に提出するとともに、進捗度の回復に努めなければならない。

(現場管理)

第 10 条 受注者は、現場代理人、監理技術者、主任技術者及び専門技術者並びに下請負業者に、工事現場内において工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。

監理（主任）技術者		
氏 名	〇〇 〇〇	
工事名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事	
工 期	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日	
	至 令和〇〇年〇〇月〇〇日	
写 真 2 cm × 3 cm 程 度		
	会社名	◇◇建設株式会社
		印

(工事实績データベースの登録義務)

第 11 条 受注者は、受注時又は変更時において工事受注金額が 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「工事カルテ」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土・日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土・日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、完成時は工事完成後 10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請しなければならない。

また、（一財）日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

（建設副産物対策）

第12条 「兵庫県建設リサイクル推進計画」（平成16年1月策定）の推進を図るため、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）（平成12年5月）に基づく「再生資源利用〔促進〕（計画・実施）書」を作成し提出すること。

・工事着手時：「再生資源利用〔促進〕計画書」

・完成時：「再生資源利用〔促進〕実施書」

2 建設リサイクル法第13条及び省令第4条に基づく書面を工事着手時に提出すること。

3 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材 廃棄物の種類	施設名称	所在地	運搬距離	受入等諸条件	その他
建設発生土 (その他) 35cm から 70cm の石	(株)坪田興業	赤穂市周世 1297-14	L=7. 8 km	当該施設の 受入条件を 遵守すること	監督員 の指示 による
Co 殻(有筋)	千種建設(株)	赤穂市中広 1675 他 3 筆	L=3. 3 km		
As 殻(掘削)					

上表は、積算参考条件を明示しているものであり、受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、兵庫県土木工事共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

この他、工事発注後に明らかになった事情により、当初想定した積算参考条件により難しい場合は、監督員と協議の上、必要に応じて設計変更を行う。

第13条 舗装の切断作業に伴い発生する濁水等の適正処理

（1）濁水等の適正処理

舗装の切断作業に伴い発生する濁水等は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、下表の分類により、適正に処理すること。

表 産業廃棄物の分類

工法 区分	濁水が生じる工法（湿式）	濁水が生じない工法（空冷式 等）
排出形態	濁水※1	粉体
産業廃棄物の 分類	「汚泥」、含まれる成分によっては、「汚泥＋廃アルカリ混合物」	「がれき類」※2 (※2 政令市等[神戸・尼崎・西宮・明石・姫路]以外における取扱

	(※1 乾燥させた場合も同様)	い。政令市等における分類は異なる場合があるため、別途当該市の環境部局に確認のこと)
--	-----------------	---

(2) 濁水が生じる工法での処理方法等

濁水が生じる工法(湿式)を採用する場合は、産業廃棄物の「汚泥」又は「汚泥+廃アルカリ混合物」として適正に処理すること。収集・運搬・処理方法は下記ア～ウのとおりとする。

ア 収集方法

以下の収集方法等により、直接現場外に排水することなく、適正に収集すること。なお、これらの方法は指定ではなく、各現場にて適正に収集することが可能な方法で収集すること。

イ 運搬方法

収集した濁水は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の運搬の基準に従い、適正に処理すること。

ウ 処理方法

収集した濁水は、産業廃棄物の「汚泥」として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理すること。

なお、収集した濁水に含まれる成分によっては、産業廃棄物の「廃アルカリ」との混合物に分類される可能性があるため、処理の際には十分注意すること。また、pH12.5 以上の場合は「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となるので十分注意すること。

「廃アルカリ」又は「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となった場合には、その処理方法を監督員と協議の上、適正に処理するものとし、その際に必要となる経費については、設計変更の対象とする。

(3) 濁水が生じない工法での処理方法等

濁水が生じない工法(空冷式等)を採用する場合は、収集にあたり吸引装置を併用するなど、粉塵の飛散防止対策を行うとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物の「がれき類」として適正に処理すること。

(4) 当初設計における濁水処理費

当初設計においては、建設副産物の処理並びに受入価格(建設廃棄物「汚泥」)については、兵庫県土木部が発行する(令和8年8月1日)備考及び特記事項に「500 kgまで一律」と記載されているため以下のとおり計上している。濁水量は実施数量(マニフェストで確認)に応じて設計変更を行う。

- ① 濁水量 0.5t
- ② 運搬費 普通トラック(2t)運搬
- ③ 処理施設

廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離	受入等諸条件	その他
「汚泥(泥水)」	赤穂リサイクルセンター	赤穂市加里屋 1250-1	3.3 km	当該施設の受入条件を遵守すること	監督員の指示による

上表は、積算参考条件を明示しているものであり、受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、兵庫県土木工

事共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

この他、工事発注後に明らかになった事情により、当初想定した積算参考条件により難しい場合は、監督員と協議の上、必要に応じて設計変更を行う。

（建設リサイクル法等に基づく手続き）

第14条 受注者は、契約締結までに建設リサイクル法第12条に基づき、必要事項を所定の書面に記載し提出すること。また、工事が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、提出するものとする。

- ・再資源化が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。掲示様式は県HPに掲載の様式又は建設副産物情報交換システムで出力される様式を使用することとする。

（建設廃棄物処理）

第15条 建設廃棄物の処理は「建設副産物適正処理推進要綱」に基づき処理すること。

（水セメント比の上限値）

第16条 土木コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、当該工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては55%以下、無筋コンクリートについては60%以下とする。

（交通誘導員の資格等）

第17条 本工事に配置する交通誘導員は、原則として交通誘導警備検定合格者（1級又は2級）を配置することとする。ただし、交通誘導警備検定合格者を配置できない場合は、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員を配置することとする。

資 格	資 格 要 件
1・2級交通誘導警備検定合格者	公安委員会が学科及び実技試験を行って、交通誘導警備に関して専門的な知識及び技能を有すると認めた者。
交通誘導に関して専門的な知識及び技能を有する警備員	・ 警備業法における警備員指導教育責任者資格者証の交付を受けている者。 ・ 警備業法における指定講習を修了した者。 ・ 警備業法施行規則における基本教育及び業務別教育（警備業法第2条第1項第2号の警備業務）を既に受けている者で、交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験）が1年以上である者。

- 2 受注者は、交通誘導員として交通誘導警備検定合格者を配置した場合、交通誘導警備検定合格証（写し）を監督員に提出するものとする。

受注者は、交通誘導員として交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員を配置した場合、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有すると確認できる次の資料のいずれかを監督員に提出するものとする。

- ・警備員指導教育責任者資格者証（写し）
- ・指定講習修了証明書（写し）
- ・警備業法施行規則第38条第2項に定める基本教育並びに同条第3項及び第4項に定める業務別教育（警備業法第2条第1項第2号の警備業務）を受講したことを証明する警備員名簿及び教育実施状況等の写し、並びに交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験)が1年以上であることを証明する書類。

（瀝青材料・一般事項）

第18条 本工事における再生密粒度アスファルト混合物（TOP13）は、下水汚泥溶融スラグを用いたアスファルト混合物（以下「下水汚泥スラグアスファルト混合物」という。）の使用を原則とする。ただし、材料の調達が困難な場合は、通常の再生密粒度アスファルト混合物の使用を妨げない。

なお、この場合、事前に発注者の了解を得るものとするが、設計変更の対象とはしない。

- 2 下水汚泥スラグアスファルト混合物における材料の試験成績表や品質証明書の提出、配合設計及び試験練り等については、兵庫県土木工事共通仕様書によるものとする。
- 3 下水汚泥溶融スラグ及び下水汚泥スラグアスファルト混合物の品質は「下水汚泥溶融スラグの品質基準」、「下水汚泥溶融スラグを用いたアスファルト混合物の品質基準」を満たすものとする。
- 4 下水汚泥スラグアスファルト混合物には、揖保川浄化センター（兵庫西流域下水汚泥広域処理場）で製造された溶融スラグを使用するものとする。

（境界ブロック・一般事項）

第19条 本工事においては、「下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリート二次製品使用促進要領」（以下「要領」という。）に基づき認定された下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリート二次製品（以下「認定製品」という。）の使用を原則とする。

ただし、認定製品が調達できない等の理由により、監督員の了解を得られた場合は認定製品以外の製品を使用することができる。ただし、設計変更の対象とはしない。

- 2 認定製品の品質管理においては、JIS 認証製品と同様の取り扱いとする。
- 3 受注者は、現地に納品された製品について、要領に記載されたスラグマークの表示を確認するものとする。

（施工体制台帳）

第20条 受注者は、施工体制台帳及び施工体系図を作成し、工事現場に備えるとともに、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第15条に基づいて監督員に提出するものとする。このとき、施工体制台帳は兵庫県土木工事共通仕様書の様式例－1及び様式例－2、施工体系図は様式例－3を参考と

してそれぞれ作成するものとする。

また、受注者は、様式例－４を参考として工事担当技術者の施工体系図を作成して、監督員に提出するものとする。工事担当技術者の施工体系図には、受注者の主任（監理）技術者及び専門技術者並びに下請負業者の主任技術者の顔写真、氏名、生年月日、所属会社名等を記載するものとする。

- 2 受注者は、建設業法施行規則第１４条の２第４項第２号に基づく添付書類を施工体制台帳とともに、監督員に提出するものとする。

（レディーミクストコンクリート）

第２１条 受注者はコンクリート打設毎に「打設状況報告書」を作成し監督員に提出するものとする。

（週休２日制度）

第２２条 本工事は、原則週休２日（土曜・日曜）を確実に取得できるよう工事を実施する「週休２日制度」の対象工事であり、その旨を工事看板に明記すること。
また、建設業へ入職しやすい環境整備のため、週休２日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し、施工計画を作成するなどの取組みを行う。

- 2 悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は、１ヵ月あたり２日を上限として、土曜・日曜の現場閉所日を平日に振り替えることを可能とする。なお、月単位の週休２日が認められる状態になるよう振り替えること。
- 3 現場稼働中の工期（工事着手（現場測量等）前、年末年始休暇６日間、夏季休暇３日間、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く。）において現場閉所の週休２日（月単位の週休２日）を達成した場合に工事成績の評価を行う。
明らかに受注者側に週休２日に取り組む姿勢が見られなかった場合は、「法令遵守等」で減点措置を行う。
- 4 現場閉所の確認のため、受注者は、工事履行報告書を提出すること。
- 5 土曜・日曜の休日に受注者の作業員及び下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等（監理技術者、主任技術者）が休日に書類作成等の内業や他の現場に従事することを制限しない。ただし、専任の者である場合、他の現場に従事しないこと。

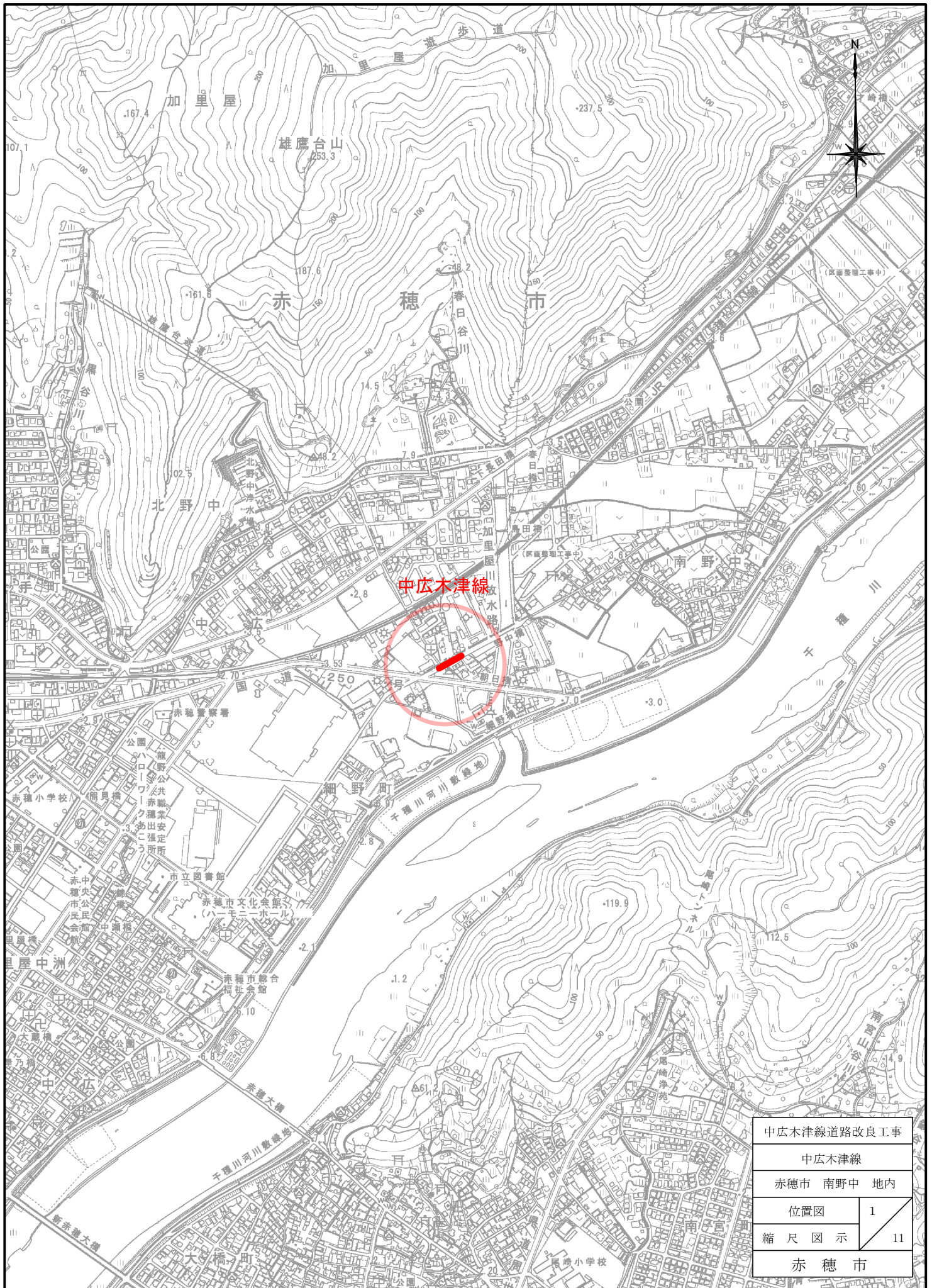
補 足 事 項

1. 受注者は、交通安全に関して所轄警察署、地元関係者に事前に連絡し危険防止に努めること。
2. 既設埋設物等本工事に支障をきたす場合は、監督員に連絡し、受注者にて手続きの上、対処すること。
3. 本工事の施工にあたり、当然必要と認められる些少の工事箇所については、発注者・受注者で協議の上、監督員の指示に従い施工すること。
4. 本工事の竣工後、監督官庁等の検査前における手直し及び監督員の指示する修繕は、受注者の負担にて行うこと。
5. 受注者は、工事現場付近における事故防止のため一般の立入を禁止する場合は、その区域に柵、門扉、立入禁止の標示板等を設けなければならない。
6. 受注者は、工事期間中（工事引渡しまで）、安全巡視を行い、工事区域及びその周辺の監視又は監督員に連絡を行い、安全を確保しなければならない。
7. 受注者は、工事中における安全確保をすべてに優先させ、労働安全衛生法等関連法令に基づく措置を常に講じておくこと。
8. 本工事は、前払金の対象であり、一般管理費等の補正は行っていない。（前払補正係数＝1.00）
9. 契約後速やかに設計図書に基づく現地照査を実施し、結果について監督員と協議すること。
10. 工事期間中に関連工事（水道工事、電気通信工事）を予定している。関連する発注者・受注者を含めて具体的な工程・作業方法等について協議の上、監督員の指示に従い施工すること。
11. その他必要事項は、赤穂市契約規程による。

提出書類一覧表

提出書類	提出時期	部数	提出	適用
現場代理人届(経歴書共)	着手時	1	○	
主任(監理)技術者届(〃)	〃	1	○	
工事工程表	〃	2	○	
施工計画書	〃	2	○	
工食用材料の承認願	〃	2	○	
下請負者選定届	〃	1	○	添付資料については、監督員の指示による
施工体制台帳	〃	1	○	工事担当技術者の施工体系図も含む
工事カルテ受領書	〃	1	○	
リサイクル法に基づく書面	〃	2	○	法律第13条及び省令4条に基づく書面
工食用材料の検査願	工事中	2	○	
施工承認図	〃	2	○	
週間工程表	〃	1	○	前週の工程会議の日に提出
月間工程表	〃	1	○	毎月25日以前に提出
工事履行報告書	〃	1	○	前月最終工程会議(打合せ)の日に提出
立会願・休日等の作業願い	〃	1	○	前週の工程会議の日に提出
工事打合簿	〃	1	○	
工事完了届	完了時	1	○	
工事引渡書	〃	2	○	
工事請負金請求書	〃	1	○	
出来形管理	〃	1	○	出来高数量総括表、出来形成果表、竣工図(展開図等)、マニフェスト、再資源化等報告書、伝票、建退共証紙貼付実績表 等
品質管理	〃	1	○	品質管理試験成績書、コンクリート打設報告書 等
安全管理	〃	1	○	新規入場者教育、安全教育・訓練等報告、KY活動 等
工事写真	〃	1	○	
官公庁等への手続き	〃	1	○	道路使用許可、特定建設作業実施届出書 等
その他	随時	1	○	監督員が必要とするもの。

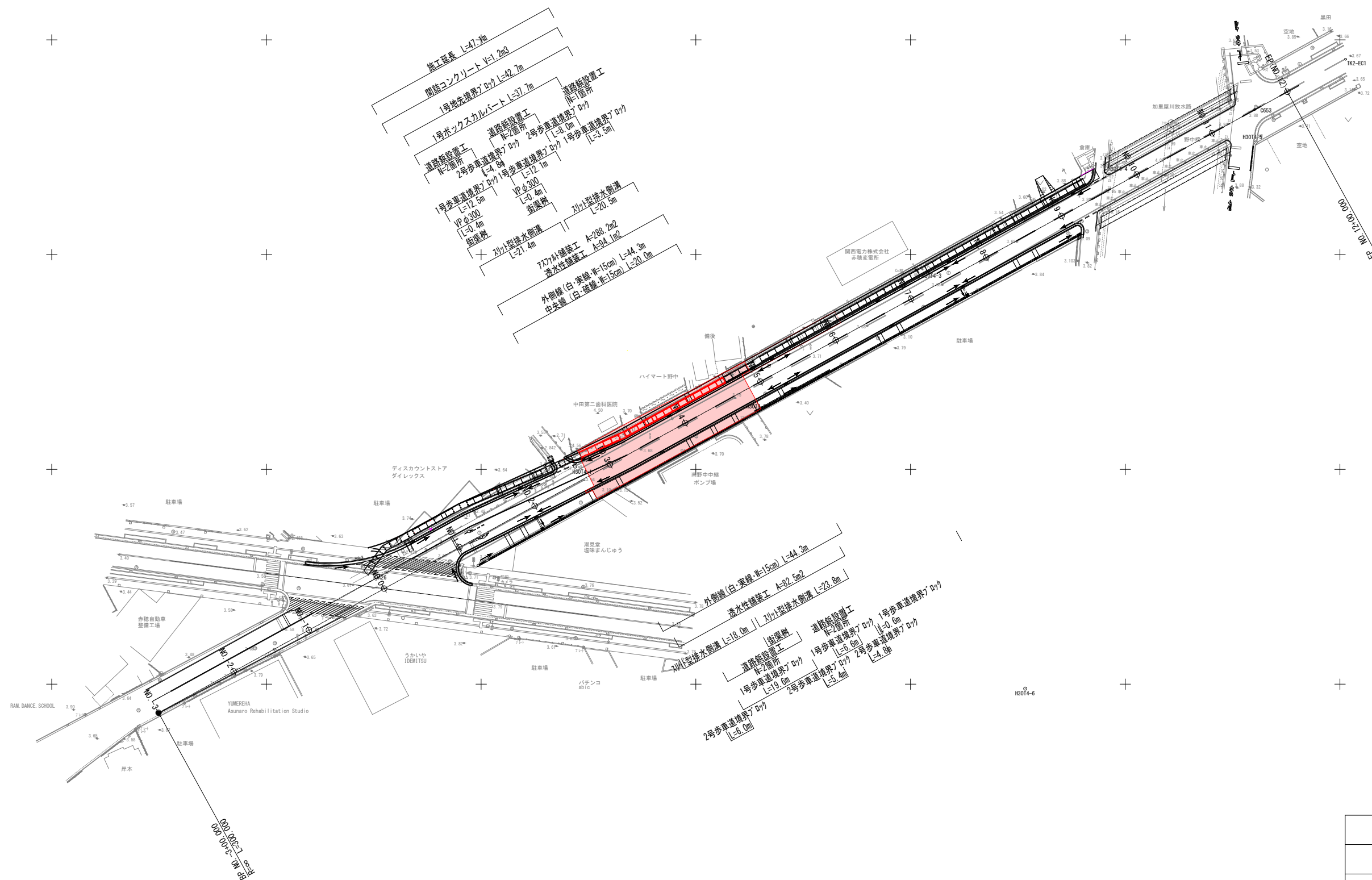
位置図 S=1:10,000



中広木津線道路改良工事	
中広木津線	
赤穂市 南野中 地内	
位置図	1
縮尺図示	11
赤穂市	

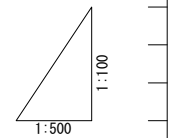
主要点	测 点	X座標	Y座標	要 素	距 離
市道中広木津線					
BP	-3+00.000	-137956.665894	6374.870584	R=∞	300.000
FP	12+00.000	-137812.098425	6637.739842		

計 画 平 面 図 S=1:500



中広木津線道路改良工事		
中広木津線		
赤穂市 南野中 地内		
図 名	平面図	2
縮 尺	図 示	11
赤 穂 市		

V=1 : 100
H=1 : 500



中広木津線道路改良工事		
中広木津線		
赤穂市 南野中 地内		
図 名	縦断図	3
縮 尺	図 示	11
赤 穂 市		

S=1 : 50

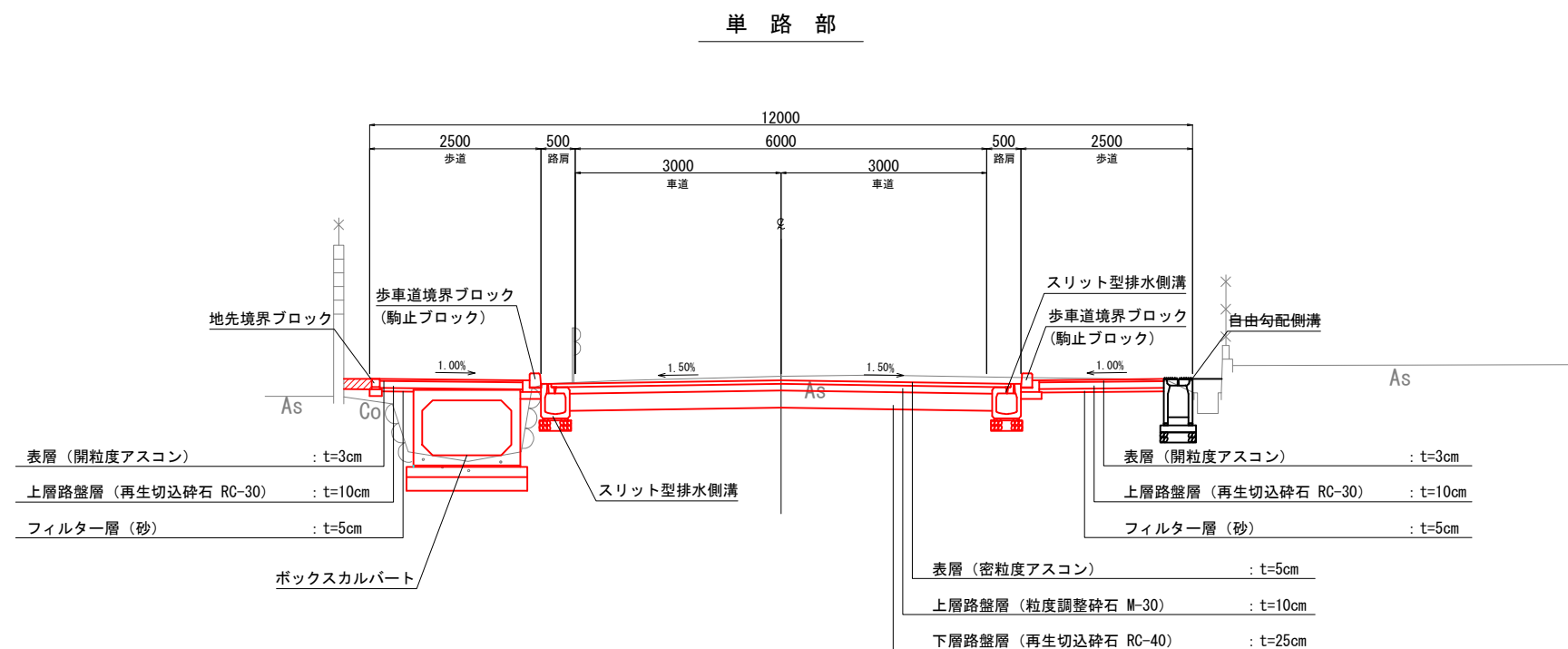
路 線 名	市道中広木津線(東側区間)
道路規格	第4種第3級
設計速度	V=40km/h
道路幅員	W=12m

	表 層 密粒度アスコン	t=5cm
	上層路盤 粒度調整砕石 M-30	t=10cm
	下層路盤 再生切込砕石 RC-40	t=25cm

断面図は、舗装構造の横断面を示しています。最上層は斜線で表された「表層 開粒度アスコン」で、厚さは3cmです。その下は「上層路盤 再生切込砕石 (RC-30)」で、厚さは10cmです。最下層は「フィルター層 砂」で、厚さは5cmです。各層の厚さは右側のラベルに明記されています。

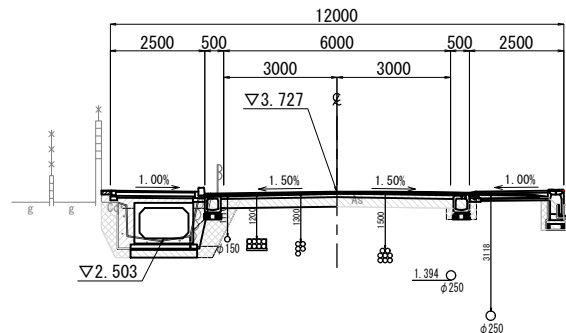
表層	開粒度アスコン	t= 3cm
上層路盤	再生切込砕石 (RC-30)	t=10cm
フィルター層	砂	t= 5cm

	表 層	開粒度アスコン	t= 5cm
	上層路盤	再生切込砕石 (RC-30)	t=15cm
	フィルター層	砂	t= 5cm

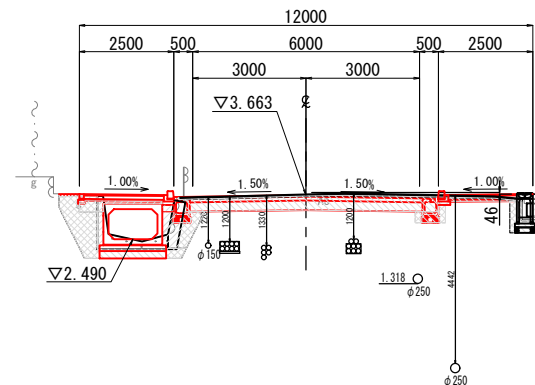


中広木津線道路改良工事		
中広木津線		
赤穂市 南野中 地内		
図 名	標準断面図	4
縮 尺	図 示	11
赤 穂 市		

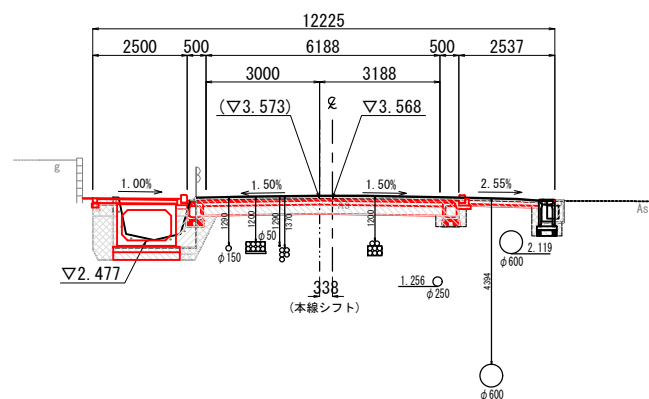
S=1 : 100

$$\begin{array}{r} \text{GH}=3.73 \\ \hline \text{FH}=3.727 \\ \hline \end{array}$$
DL=0.00

道路土工			
掘削	砂質土	m2	2.6
路床盛土	W<2.5m	m2	0.6
	$2.5 \leq W < 4.0$ m	m2	-
路体盛土	$4.0 \text{m} \leq W$	m2	-
	W<2.5m	m2	0.5
	$2.5 \leq W < 4.0$ m	m2	-
	$4.0 \text{m} \leq W$	m2	-
		m2	0.3
歩道盛土			
舗装工			
不陸整正	車道部	m	5.5
	歩道部	m	-
車道部	表層	m	6.70
	上層路盤	m	6.16
	下層路盤	m	6.16
歩道部	表層	m	2.12
	基層	m	-
	路盤	m	2.12
	フィルター層	m	2.12
構造物取壊し工			
水路		m2	0.73
石積		m2	0.39

$$\begin{array}{r} \text{GH}=3.68 \\ \hline \text{FH}=3.663 \\ \hline \end{array}$$
DL=0.00

道路土工			
掘削	オープン	m2	2.9
路床盛土	W<2.5m	m2	0.6
	2.5≤W<4.0m	m2	-
	4.0m≤W	m2	-
路体盛土	W<2.5m	m2	0.3
	2.5≤W<4.0m	m2	-
	4.0m≤W	m2	-
歩道盛土		m2	0.3
舗装工			
不陸整正	車道部	m	5.5
	歩道部	m	-
車道部	表層	m	6.70
	上層路盤	m	6.16
	下層路盤	m	6.16
歩道部	表層	m	2.12
	基層	m	-
	As	路盤	m
フィルター層		m	2.12
構造物取壊し工			
水路		m2	0.81
石積		m2	0.37

$$\begin{array}{r} \text{GH}=3.66 \\ \hline \text{FH}=3.568 \\ \hline \end{array}$$
DL=0.00

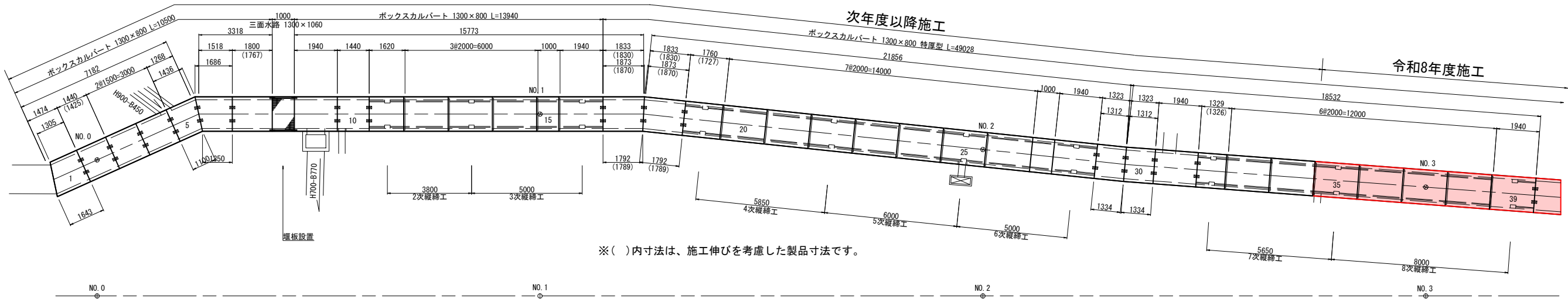
道路土工			
掘削	オープン	m2	3.4
路床盛土	W<2.5m	m2	0.6
	2.5≤W<4.0m	m2	-
	4.0m≤W	m2	-
路体盛土	W<2.5m	m2	0.2
	2.5≤W<4.0m	m2	-
	4.0m≤W	m2	-
歩道盛土		m2	0.2
舗装工			-
不陸整正	車道部	m	5.8
	歩道部	m	-
車道部	表層	m	6.89
	上層路盤	m	6.35
	下層路盤	m	6.35
歩道部	表層	m	2.12
	基層	m	-
	路盤	m	2.12
	フィルター層	m	2.12
構造物取壊し工			
水路		m2	1.17
石積		m2	-

中広木津線道路改良工事		
中広木津線		
赤穂市 南野中 地内		
図 名	横断面	5 11
縮 尺	図 示	
赤 穂 市		

ボックスカルバート工 構造図(1/4)

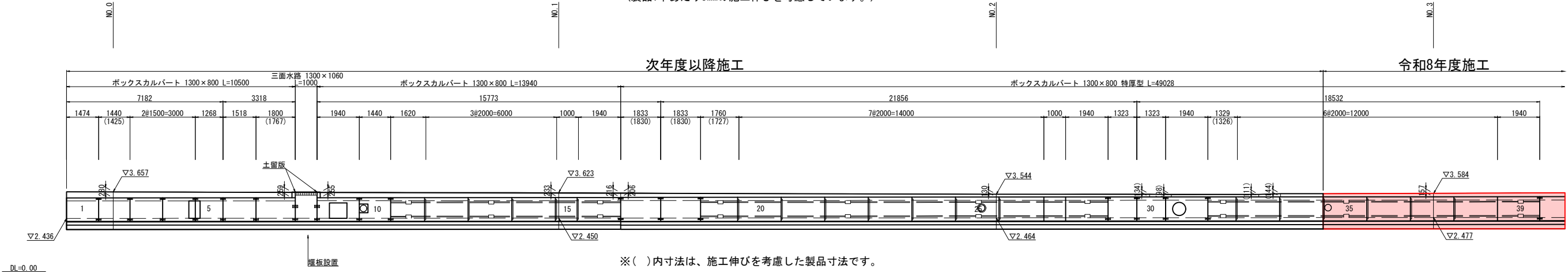
設計条件		
設計荷重	T-25	(T荷重)
土の単位体積重量	$\gamma_s=18.00\text{kN/m}^3$	
静止土圧係数	$K_0=0.5$	
鉛直土圧係数	$\alpha=1.0$	
土被り	0.10~0.39m	

平面割付図 S=1:100
(製品1本あたり3mmの施工伸びを考慮しています。)



※()内寸法は、施工伸びを考慮した製品寸法です。

縦断割付図 S=1:100
(製品1本あたり3mmの施工伸びを考慮しています。)



※()内寸法は、施工伸びを考慮した製品寸法です。

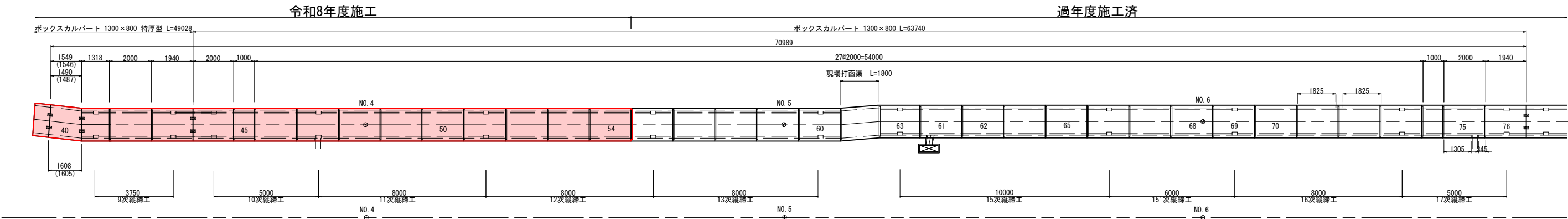
(注記)
・既設の宅地排水との接続については、現時点では既存資料等からの想定のため、施工時に管径、位置等を確認し、適宜修正すること。

中広木津線道路改良工事			
中広木津線			
赤穂市 南野中 地内			
図 名	ボックスカルバート工事 構造図(1/4)	6	11
縮 尺	図 示		
赤 穂 市			

ボックスカルバート工 構造図(2/4)

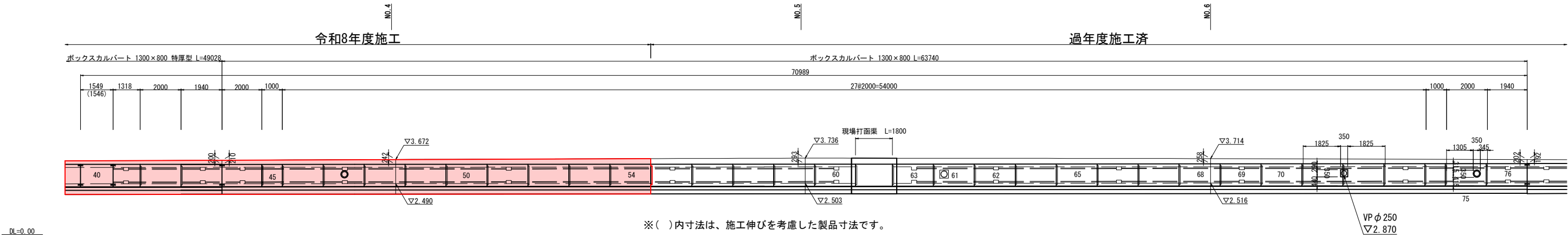
設計条件		
設計荷重	T-25	(T荷重)
土の単位体積重量	γ s=18.00kN/m3	
静止土圧係数	Ko=0.5	
鉛直土圧係数	α =1.0	
土被り	0.10～0.39m	

平面割付図 S=1:100
(製品1本あたり3mmの施工伸びを考慮しています。)



※()内寸法は、施工伸びを考慮した製品寸法です。

縦断割付図 S=1:100
(製品1本あたり3mmの施工伸びを考慮しています。)



※()内寸法は、施工伸びを考慮した製品寸法です。

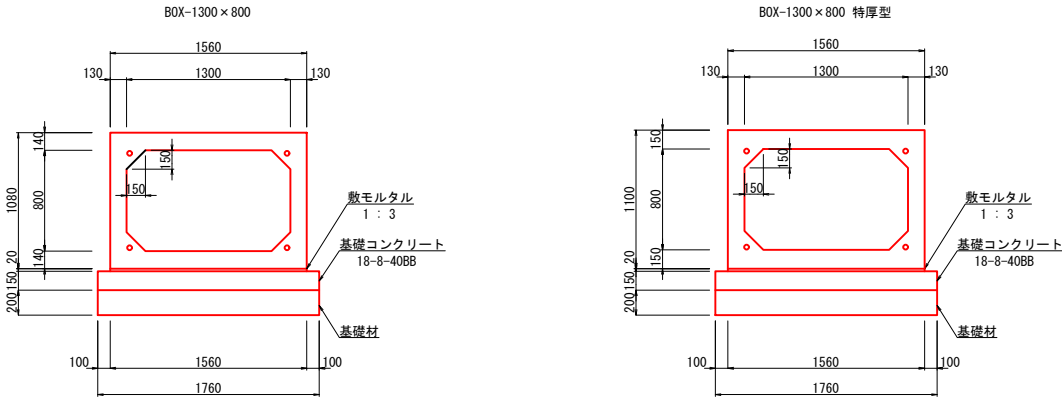
(注記)
・既設の宅地排水との接続については、現時点では既存資料等からの想定のため、施工時に管径、位置等を確認し、適宜修正すること。

中広木津線道路改良工事		
中広木津線		
赤穂市 南野中 地内		
図 名	ボックスカルバート工 構造図(2/4)	7
縮 尺	図 示	11
赤 穂 市		

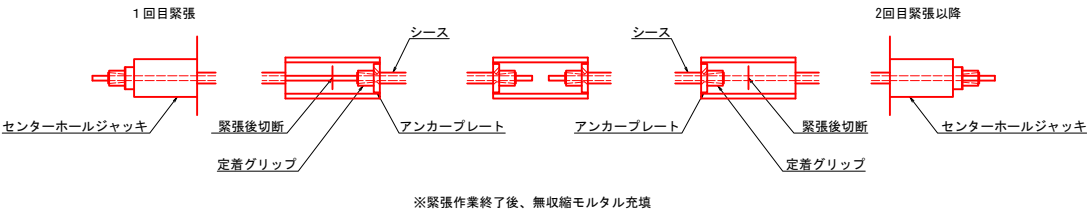
ボックスカルバート工 構造図(3/4)

設計条件		
設計荷重	T-25	(T荷重)
土の単位体積重量	γ	18.00kN/m3
静止土圧係数	K_0	0.5
鉛直土圧係数	α	1.0
土被り	0.10~0.39m	

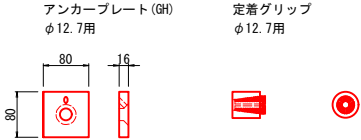
標準断面図 S=1:30



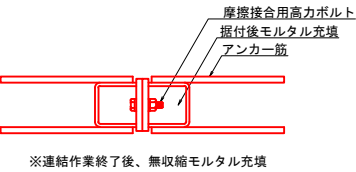
緊張状態図



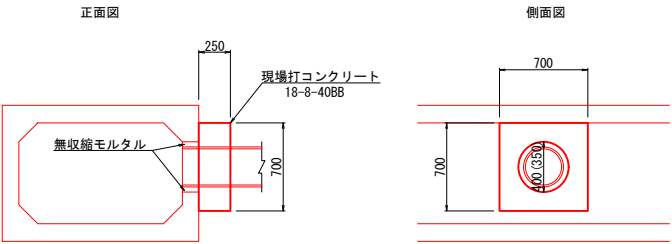
部品詳細図



ボルト連結継手部詳細図



防護工 (φ300) S=1:30



中広木津線道路改良工事		
中広木津線		
赤穂市 南野中 地内		
図名	ボックスカルバート工 構造図(3/4)	8
縮尺	図示	11
赤穂市		

ボックスカルバート工 構造図(4/4)

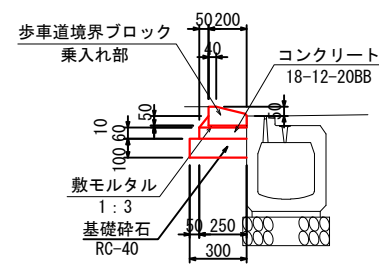
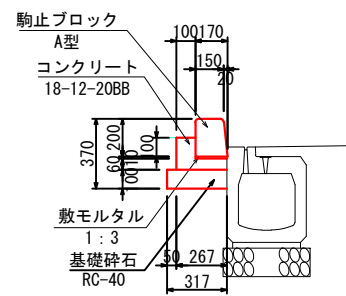
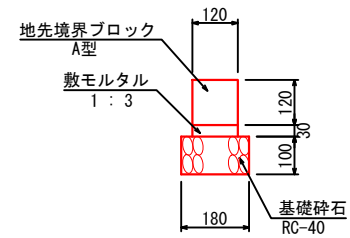
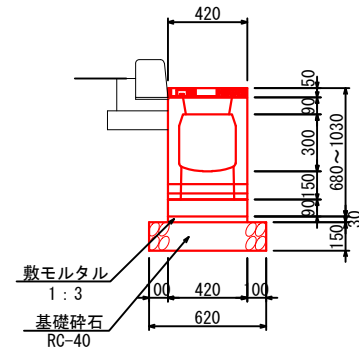
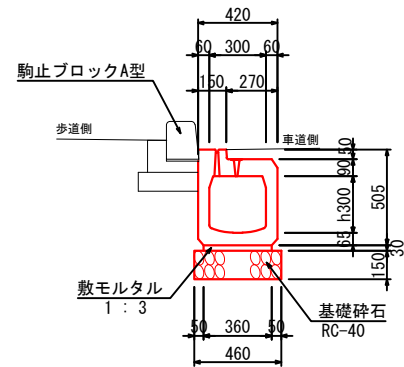
設計条件	
設計荷重	T-25 (T荷重)
土の単位体積重量	$\gamma s=18.00\text{ kN/m}^3$
静止土圧係数	$K_0=0.5$
鉛直土圧係数	$\alpha=1.0$
土被り	0.10～0.39m

縦締工数量表			1ヶ所当り		
種 別	摘 要	計 算 式	数 量	単位	摘 要
PC鋼より線 φ12.7	-1次縦締工-	—	—	m	発注済区間
	-2次縦締工	4×5.50	22.00	m	
	-3次縦締工	4×6.75	27.00	m	
	-4次縦締工	4×7.75	31.00	m	
	-5次縦締工	4×7.75	31.00	m	
	-6次縦締工	4×6.75	27.00	m	
	-7次縦締工	4×7.25	29.00	m	
	8次縦締工	4×9.75	39.00	m	
	9次縦締工	4×5.50	22.00	m	
	10次縦締工	4×6.75	27.00	m	
	11次縦締工	4×9.75	39.00	m	
	12次縦締工	4×9.75	39.00	m	
	小 計		166.00	m	
	13次縦締工	4×9.75	39.00	m	
	14次縦締工	—	—	m	
	15次縦締工	4×11.75	47.00	m	
	15'-次縦締工	4×7.75	31.00	m	
	16次縦締工	4×9.75	39.00	m	
	17次縦締工	4×6.75	27.00	m	
	18次縦締工	4×7.25	29.00	m	
	19次縦締工	4×9.75	39.00	m	
	20次縦締工	4×9.75	39.00	m	
	21次縦締工	4×8.75	35.00	m	
	22次縦締工	4×7.50	30.00	m	
	23次縦締工	4×9.75	39.00	m	
	24次縦締工	4×8.75	35.00	m	
	25次縦締工	—	—	m	
	小 計		438.00	m	
	合 計		723.00	m	
定着グリップ	φ12.7用	5×4×2	40.00	個	発注済区間
		-12×4×2	96.00	個	
	合 計		184.00	個	
アンカープレート	φ12.7用	5×4×2	40.00	枚	発注済区間
		-12×4×2	96.00	枚	
	合 計		184.00	枚	
高力ボルト連結継手	M16	3×4(高力ボルト12組に付きスライドアンカー24個)	12.00	組	発注済区間
		-2×4(高力ボルト8組に付きスライドアンカー16個)	8.00	組	
	合 計		86.00	組	

※緊張力 P=70kN/本(特厚型は80kN/本)
※トルク値 28N・m/ヶ所
より線重量：(39.00+22.00+27.00+39.00+39.00)×0.774=128.484kg

面体数量表					1ヶ所当り	
規 格	製 品 長	種 別	数 量	函 体 番 号	摘 要	
□-1300×800 (縦締工)	L=2000	基本	8	-12-14, 46, 48-54	発注済区間	
	L=2000	基本(凸付凹カット, 片側ボルト固定)	1	44		
	L=2000	基本(側壁開口φ350)	1	47		
	L=1000	基本	1	45		
	ℓ=1474 (1643 / 1305)	斜切(凸カット凹斜, 片側ボルト固定)	1	1		
	ℓ=1425	短尺(凸凹カット, 両側ボルト固定)	1	2		
	ℓ=1500	短尺(凸凹カット, 両側ボルト固定)	1	3		
	ℓ=1500	短尺(凸凹カット, 両側ボルト固定, 側壁半角開口300×800)	1	4		
	ℓ=1268 (1100 / 1436)	斜切(凸斜凹カット, 両側ボルト固定, 側壁半角開口220×800)	1	5		
	ℓ=1518 (1350 / 1686)	斜切(凸カット凹斜, 両側ボルト固定)	1	6		
	ℓ=1767	短尺(凸凹カット, 両側ボルト固定)	1	7		
	ℓ=1940	短尺(凸凹カット, 両側ボルト固定, 側壁開口800×700)	1	9		
	ℓ=1440	短尺(凸凹カット, 両側ボルト固定, 側壁半角開口400×400)	1	10		
	ℓ=1620	短尺(凸付凹カット, 片側ボルト固定)	1	11		
	ℓ=1940	短尺(凸カット凹付, 片側ボルト固定)	1	16		
	ℓ=2000	基本	23	(55), 56-60, 62-69, 70, 73, 94-101		
	ℓ=2000	基本(側壁半角開口175×350)	2	71, 72		
	ℓ=2000	基本(側壁開口φ350)	2	75, 102		
	ℓ=2000	基本(側壁開口425×400)	1	61		
	ℓ=2000	基本(側壁開口400×400)	1	57		
	ℓ=1000	基本	2	74, 103		
	ℓ=1940	短尺(凸カット凹付, 片側ボルト固定)	1	76		
	ℓ=1624	短尺(凸付凹カット, 片側ボルト固定)	1	93		
	ℓ=1940	短尺(凸カット凹付)	1	104		
□-1300×800 (特厚型, 縦締工)	L=2000	基本	4	-20-24, 33-34, 36-38, 42	発注済区間	
	L=2000	基本(側壁開口φ400)	1	-25, 35		
	ℓ=2000	基本(凸立上凹付)	1	26		
	ℓ=1000	短尺(凸凹カット)	1	27		
	ℓ=1830 (1789 / 1870)	斜切(凸斜凹カット, 両側ボルト固定)	1	17		
	ℓ=1830 (1789 / 1870)	斜切(凸カット凹斜, 両側ボルト固定)	1	18		
	ℓ=1727	短尺(凸付凹カット, 片側ボルト固定)	1	19		
	ℓ=1940	短尺(凸凹カット, 片側ボルト固定)	1	28		
	ℓ=1940	短尺(凸カット凹付, 片側ボルト固定)	2	39, 43		
	ℓ=1323 (1334 / 1312)	斜切(凸斜凹カット, 両側ボルト固定)	1	29		
	ℓ=1323 (1334 / 1312)	斜切(凸カット凹斜, 両側ボルト固定)	1	30		
	ℓ=1940	短尺(凸凹カット, 両側ボルト固定, 側壁開口φ600)	1	31		
	ℓ=1326	短尺(凸付凹カット, 片側ボルト固定)	1	32		
	ℓ=1546 (1605 / 1487)	斜切(凸斜凹カット, 両側ボルト固定)	1	40		
	ℓ=1318	短尺(凸付凹カット, 片側ボルト固定)	1	41		
	ℓ=2000	基本	10	78-80, 82-84, 86-89		
	ℓ=2000	基本(側壁開口250×350)	1	81		
	ℓ=2000	基本(側壁開口φ350)	1	85		
	ℓ=2000	基本(凸立上凹付)	1	90		
	ℓ=1452	短尺(凸付凹カット, 片側ボルト固定)	1	77		
	ℓ=1000	短尺(凸凹カット)	1	91		
	ℓ=1940	短尺(凸凹カット, 片側ボルト固定)	1	92		
	ℓ=1000	基本(凸凹カット, 両側ボルト固定)	1	8		
□-1300×1060 (三面水路)	ℓ=1000	基本				
主留板		B1560×H260×ℓ150 (H=146kg/枚)	2			

中広木津線道路改良工事			
中広木津線			
赤穂市 南野中 地内			
図 名	ボックスカルバート工 構造図(4/4)	9	11
縮 尺	図 示		
赤 穂 市			

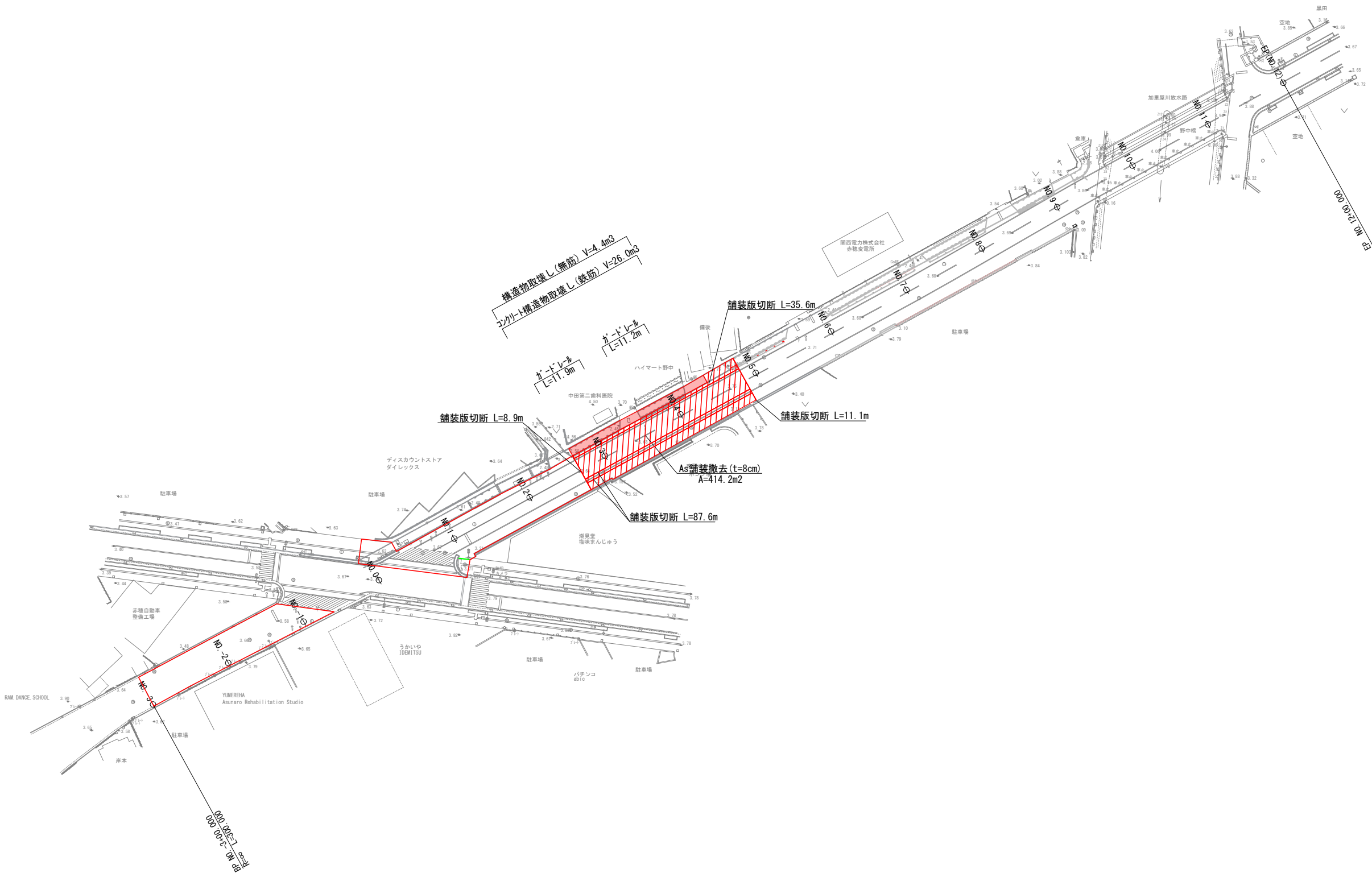


中広木津線道路改良工事		
中広木津線		
赤穂市 南野中 地内		
図 名	構造図	10
縮 尺	図 示	11
赤 穂 市		

主要点	測 点	X座標	Y座標	要 素	距 離
市道中広木津線					
BP	-3+00.000	-137956.665894	6374.870584	R=∞	300.000
EP	12+00.000	-137812.098425	6637.739842		

撤 去 工 平 面 図

S=1:500



中広木津線道路改良工事		
中広木津線		
赤穂市 南野中 地内		
図 名	撤去平面図	11
縮 尺	図 示	11
赤 穂 市		